

# 精神医学総論

## 【Psychiatry】

担当責任者 教授（精神医学） 吉村 玲児

### ねらい

精神医学は、人間の精神現象とその病態を取り扱う医学である。すなわち精神障害の病因、診断、治療、予防を研究する学問であり、さらには社会との関連において精神現象を追究する学問でもある。特に最近の社会構造の変化に伴ってメンタルヘルス対策は重要な課題となっており、産業医にとってその知識の習得と技能の研鑽は必要不可欠である。

また基礎的な精神医学の知識は臨床のどの科に従事するにしても欠くことはできない。

講義は産業医を含む一般医にとって実地に必要な精神医学的知識の他、下記の点を目標にする。

1. 人間の精神現象、行動について、医学的に把握するために必要な知識、技術、態度を認識する。
2. 性格、知能、感情、思考などを含む心理の正常と異常を理解する。
3. 各種精神疾患の基盤となる分子病態生理および治療法の概要を理解する。

### 学修目標

1. 精神医学の成り立ちを説明できる。(Ⅱ-12)
2. 精神科の専門用語の意味を説明することができる。(Ⅱ-1, Ⅱ-4, Ⅱ-5)
3. 統合失調症、気分障害および老年期の精神疾患について基礎的な知識を述べるができる。(Ⅱ-4, Ⅱ-5, Ⅱ-6)
4. 精神科における治療(精神療法・生物学的治療)がどのようなものか知っており、各疾患にどのように用いられるかを述べるができる。そして、治療の作用機転・経過・副作用についても概略を述べるができる。(Ⅱ-5, Ⅱ-6)

### 事前事後学習の方法

1. 下記教科書を用い、該当する範囲を事前に予習しておくこと。
2. 講義で不明な点があれば講義後であっても随時質問は受け付ける。
3. 授業中に実施される確認テストのフィードバックとしてeラーニングを活用する。

### 成績評価方法・基準

1. 出席状況を加味し、総合的に判断する。
2. 出席確認時にGoogle formを利用し授業の確認テストを行う。(全日程で100点満点)
3. 60%以上の得点を合格とする。

### ○教科書

TEXT精神医学 改定4版(南山堂)

### ○参考書

澤明監訳、阿部浩史訳「DSM-5を使いこなすための臨床精神医学テキスト」2015年(医学書院)

年月日	曜日	時限	授 業 項 目 ( 内 容 )	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R6.10.7	月	5	精神医学概論Ⅰ 小テスト	PS	02	17	01,02	吉村 玲児
10.7	月	6	精神医学概論Ⅱ 小テスト	PS	02	17	03-05	吉村 玲児
10.11	金	5	気分障害(うつ病)Ⅰ 小テスト	PS	02	17	01,02	塚田 凧歩
10.11	金	6	気分障害(うつ病)Ⅱ 小テスト	PS	02	17	03-05	塚田 凧歩
10.18	金	5	統合失調症Ⅰ 小テスト	PS	02	17	01,02	小西 勇輝
10.18	金	6	統合失調症Ⅱ 小テスト	PS	02	17	03-05	小西 勇輝
10.21	月	5	児童・思春期精神障害Ⅰ 小テスト	GE	03	02	02	新開 隆弘
10.21	月	6	児童・思春期精神障害Ⅱ 小テスト	GE	03	04	04	新開 隆弘
10.25	金	5	職場のメンタルヘルスⅠ 小テスト	GE	03	04	04	丸山 隼矢 (認知症センター)
10.25	金	6	職場のメンタルヘルスⅡ 小テスト	PS	02	17	01-05	丸山 隼矢 (認知症センター)
11.11	月	5	神経症(不安障害)Ⅰ 小テスト	PS	02	17	01,02	平島 達朗
11.11	月	6	神経症(不安障害)Ⅱ 小テスト	PS	02	17	03-05	平島 達朗
11.25	月	5	アルコール依存症Ⅰ 小テスト	PS	02	17	05	新開 隆弘
11.25	月	6	アルコール依存症Ⅱ 小テスト	GE	04	01	06	新開 隆弘
11.27	水	1	老年精神医学Ⅰ 小テスト	GE	03	05	01,03,07	池ノ内 篤子 (認知症センター)
11.27	水	2	老年精神医学Ⅱ 小テスト	PS	02	17	01-05	池ノ内 篤子 (認知症センター)